

令和6年5月28日

報道機関 各位

グローバルリスク研究センター設置について

長崎大学では、「人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群の解決に向け、学際的にその知を結集・創造することで世界的プラネタリーヘルスの実現に貢献する」とした本学の目標達成に重要なグローバルリスクの最先端研究の一翼を担うものとして、2024年6月1日、グローバルリスク研究センター（Research Center for Global Risk）を設置します。

設置にあたり、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの岩下明裕教授がクロスアポイントメント適用教員となり、センター長として活動を行う予定です。

1. 設置の背景

原爆被爆の経験を有する長崎大学は、これまで平和教育・核兵器廃絶研究において独自に継続的な取り組みを行ってきました。近年、戦争や感染症、環境破壊など国境を超えてグローバルに多発する人類の危機を目の当たりにし、いまこそ安全で平和に存続できるプラネタリーヘルスの実現が求められていると考えました。そこで、本学の有する人文社会科学的叡智を統合し、国内外の様々なリスクについての学際的研究を推進することになりました。新しく設立されるセンターは、文理協働のもと、国際的な連携や共同研究を実施し、国際社会へのさまざまな提言を行うとともに、次世代の研究者、政策立案能力のある専門家、国際社会におけるリーダーの育成も行う学際的研究創発の場をつくります。

2. 活動内容

- 人文科学（哲学、倫理学、宗教学など）や社会科学（経済学、政治学、安全保障学など）、データ科学からのアプローチを含み、リスクに関して分野融合的な統合的理解を深めます。
- 科学的理解を深め、かつ研究成果に基づく社会への貢献を現実化するため、リスクアセスメント、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションを探求します。
- 地球規模の巨大なリスクの相互関連性と、一つのリスクが他のリスクの引き金となる相互連鎖性を主な研究対象とします。
- ローカルなリスクが負の連鎖によりスケールを持ち、さまざまな境界を越えて拡大しうるリスクのグローバル化とその相互連鎖性も研究します。

3. その他

本センターでは、人材育成のため、令和8年度を目途に社会人も対象とした博士課程設置も含めた教育活動との連携も視野に入れています。現在、センターでは参画する教員を学内の各部局に募っており、リスクへの関わりを切り口として多領域・学術横断的、また国際的な観点から一緒に議論し、人類社会へ貢献する新たな学問形成に関心をもつ教員の参画を進めております。

岩下明裕センター長のほか、春日文子教授（熱帯医学・グローバルヘルス研究科ならびにプラネタリーヘルス学環）、西田充教授（多文化社会学部）、樋川和子教授（核兵器廃絶研究センター）が副センター長を務めます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学政策企画部政策企画課 多田

TEL : 095-819-2015

Mail:soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp